



悠久の時を超えて、

受け継がれる心と技。

博多織・久留米絣・ 八女福島仏壇

特別販売会・
ワークショップ

～日常で使う伝統的工芸品～

2023.1/21^土・22^日 2/25^土・26^日 10:00-16:00

場所

アクロス福岡 1階アトリウム
福岡県福岡市中央区天神1-1-1



●主催
福岡県伝統的工芸品振興協議会 / 伝統的工芸品FUKUOKA協議会
●お問い合わせ
福岡県伝統的工芸品振興協議会 福岡市博多区吉塚本町9番15号
TEL 092-622-8780 FAX 092-622-6884

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、
会期等は変更する場合があります。
最新の情報は福岡県中小企業団体中央会のホームページ
(<https://www.chuokai-fukuoka.or.jp/>)をご確認下さい。

井上絹織

井上絹織(株)は博多織業界で唯一、糸を染める工程から帯ができるまで一貫生産している製造メーカーです。様々な帯生地を使ったカラフルな小物類などを作っています。



博多織作家

<荒木希代-CO. COON->1月22日(日)のみ

“ミニッセルハカタオリ”がコンセプトの博多織小物ブランドです。博多織作家が染織した絹糸や生地を着物だけでなく、日常で使えるものにしたとアクセサリー作家と制作コラボレーションしました。CO.COONのアクセサリーは作家たちの繊細な手作りの技が溢れ合うことで生まれた一点物の作品です。

CO.COON



<(株)Fdot.> 2月26日(日)のみ

福岡県の伝統工芸品である手織の「博多織」を主素材に、現代の衣食住シーンに彩りを添えられるような一点物のアクセサリーやバッグ、インテリア製品を制作・展開しています。博多織のシンボリックな「献上柄」には厄除けや子孫繁栄、家内安全などの意が込められています。



森山
絹工房

藍森山では化学染料を使わず、オーガニックコットンと天然のすくも(藍の原料)を使っています。国が認めた職人が手括り、藍染め、手織り等の繊細な作業を担っており、手作業だからこそ生み出される繊細な模様と柔らかな風合いが特徴の工房です。本工房では工房見学や藍染め体験が可能です。



池田
絹工房

創業大正8年、福岡県筑後市で約100年続く、藍染、手織りを特徴とした工房です。伝統を守り、ひとつひとつ手織りていねいにつくり続けながら、様々な方々と関わり、変化し続けることを大切に考えています。機織り工房の隣には広々とした店舗があり、たくさんの手織りの反物やハギレの他、藍染製品を販売しています。隣の工房で織りさんが実際に布を織る様子を見て、機織りの音を聞きながらお買い物ができます。



かすり工房
「藍の詩」
富久織物

久留米絹の製造を中心に一品物の手づくりバッグ等の絹製品も手掛ける工房です。要望に応じたオリジナルの企画・柄のデザインを得意とし、多数のコラボレーション企画で久留米絹の製作をしています。また、久留米絹の製造元では数少ない手織りと機械織の両方を手掛ける工房であり手頃で普段使いしやすい機械織の製造をしつつ重要無形文化財久留米絹の技術保持者协会会员として無形文化財技術の伝承にも力を入れています。



漆工房
岩弥

国指定伝統的工芸品「八女福島仏壇」をつくる漆の技術をいかした「手仕事」の漆アクセサリーです。漆とは思えないようなカラフルさと漆職人の遊び心からうまれる無限の表現力。見た目の美しさだけでなく漆のしっとりとした質感を肌で感じ天然の漆ならではの経年変化してゆく漆を多くの世代に親しんでいただいております。漆かぶれしないように、塗り上げて半年間充分に乾かしたものです。



		博多織			久留米絹			八女福島仏壇
		井上絹織	CO.COON	(株)Fdot.	森山絹工房	池田絹工房	富久織物	漆工房 岩弥
2023・1月21日	土				○	○		
2023・1月22日	日	○	○		○	○		
2023・2月25日	土						○	○
2023・2月26日	日	○		○			○	○

あなたの手で「伝統」を作ろう！職人さんから直接教わりながらの制作体験ができます。

ワーク
ショップ
コーナー

博多織の生地を使った
ミニがま口作り

- 参加料：1,000円(税込)
- 所要時間：30分程度
- ※1月22日(日)・2月26日(日)開催



金箔体験お箸作り

- 参加料：2,000円(税込)
- 所要時間：30分程度
- ※2月25日(土)・26日(日)開催

